

施策評価シート

登録者(課長)名【1】	環境保全課長 清水 誠
主管課(関係課)【2】	環境保全課(管財課、企画政策課)

【施策の概要】

施策名【3】		分野【4】		まちづくりの方向性【5】		
環2-3 公害対策の推進		持続可能な社会を確立するために		環境にやさしいまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】			施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	公害問題の悪化を防ぐためには、継続的な調査による問題の早期発見と対策が必要です。大気汚染については、引き続き低公害車の普及促進などに取り組む必要があります。特に光化学スモッグの原因物質のひとつであるVOCについては、取扱い事業者に対する指導による揮発量の削減にも努めなければなりません。			・低公害車などの普及促進 ・VOC対策	自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】					
◇大気汚染について、平成21年に、現行の浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準より更に細かい微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準が国より示されています。						
事業群	事業群名【10】			事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	公害問題の防止と解決に取り組めます		公害問題の防止と解決		
	2	大気汚染の防止に努めます		低公害車の普及促進などによる大気汚染の防止		

【施策の成果】





			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「環境汚染の防止など公害対策の推進」に対する市民満足度	目標値	30%			単位	%	
		算出式・説明	法令に基づく事業者への指導を通じて意識の向上を図るとともに、大気や水質などの調査結果の公表を通じ、市民の公害に対する意識の醸成を図ります。市民意識調査で把握します。	実績値	18.1	18.1	18.1	22.2	22.2	24.8
		達成率	60%	60%	60%	74%	74%	83%		
	指標2	名称	庁用車のうち低公害車の占める割合	目標値	55%			単位	%	
		算出式・説明	公害のない環境づくりのために、市が率先して低公害車を使用することにより、事業者や市民が大気汚染の防止に協力する意識を高めます。	実績値	44.4	48.6	53.2	54.3	54.8	
		達成率	81%	88%	97%	99%	100%	0%		
	指標3	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
	指標4	名称		目標値				単位		
		算出式・説明		実績値						
		達成率								
達成率の平均値				71%	74%	79%	87%	87%	42%	

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度		平成24年度	
満足度(%)	18.1%	満足度(%)	22.2%	満足度(%)	24.8%
満足度(平均ポイント)	-0.27	満足度(平均ポイント)	-0.15	満足度(平均ポイント)	-0.02
重要度(%)	86.1%	重要度(%)	64.9%	重要度(%)	80.9%
重要度(平均ポイント)	1.53	重要度(平均ポイント)	0.79	重要度(平均ポイント)	1.36

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】 <input type="checkbox"/> まだ未達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題 (取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇公害問題の悪化防止については、大気汚染、騒音、振動、河川水質などの定期調査を通じて公害の現状を補足し、環境白書、市報、ホームページ、エコプラザ西東京を通じて市民に公表しています。環境に対する市民の意識の高まりに応えられるよう、法改正や社会需要に即した調査を行い、その結果をわかりやすく公表していくことが課題です。 ◇大気汚染の防止については、光化学スモッグの原因物質のひとつであるVOCについて、東京都との連携を図りつつ事業者対策を進めています。また、庁用車については、耐用年数の経過等に伴う新規車両の導入に際して、順次計画的な低公害車への入替えを行っています。	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針 (具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇公害問題や環境問題に関する市民の関心を喚起する意味からも、引き続き市民への情報提供を行っていきます。 ◇大気汚染の防止については、PM2.5に関するデータの収集・蓄積を進めているほか、東京都と連携してVOC対策を行っています。また、庁用車の低公害車化についても、引き続き計画的に取り組んでいきます。	
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域		

【一次評価後の事情変更等】

説明【23】	
--------	--

【行革本部評価】

総合評価	施策内容の方向性【20】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化	
	判断理由等【24】	公害対策については、国や都との役割分担の中で対応すべき分野であり、これまで本市では、大気汚染等の公害関連データの定期調査を実施、公表を行ってきたほか、庁用車更新期にあわせた低公害車化を進めてきました。市民意識調査における重要度認識が大幅に高まっていることは、大気汚染等に対する意識のほか、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う原子力発電所事故による影響が少なくないと考えられます。このため、従来の取組みについては法改正や需要に即した調査及び市民にとって分かりやすい公表に努め、新たな課題には、空間放射線量測定や調理済み学校給食及び給食食材の放射性物質検査といった対応をしており、市民の健康に対する安全を確認してきたところです。 今後については、平成26年度からの10年間を計画期間とする次期環境基本計画の策定の中で、放射線対策と公害対策の枠組みの検討や、国の第四次環境基本計画も踏まえ、市の放射線対策の位置付けを明確にしていく必要があります。次期環境基本計画の策定に合わせ、その推進体制の整備を行い、施策内容の拡充に努めます。
	施策実施方針【22】 II コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域	

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
2	低公害車の普及促進	管財課	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進めています。市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行うことを目的としています。 共用車の買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としていますが、平成24年度については購入の予定はありません
	低公害車の普及促進	企画政策課	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進めています。市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行うことを目的としています。 買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としています。 ここでは、共用車以外の各課所有の車の買い替え分を取扱っています。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
事業費	人件費					
0	0	0	継続実施 (平成21年度)	上	低公害車の普及促進に向けて、率先して低公害車の計画的な導入を進めて、大気汚染の防止及び意識啓発を行うことができる。	B
2,183	2,183	0	継続実施 (平成21年度)	上	低公害車の普及促進に向けて、率先して低公害車の計画的な導入を進めて、大気汚染の防止に努めています。	B
2,183	2,183	0				